３市１町健康教育

～地域の健康を守る一員として～

カテゴリー：④連携



公式キャラクター

「はりっきー」

【学校概要】

播磨内陸医務事業組合立　播磨看護専門学校　兵庫県加東市家原 812-1

３年課程　１学年定員数：35 名　修業年限：３年

【内容】

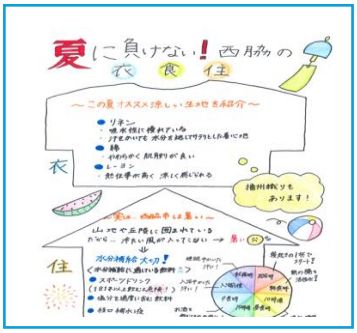
本校の設置主体は、西脇市、加西市、加東市、多可町の３市１町が共同で運営する組合である。地域で活躍する看護師を育成することが設置目的である。地域の施設から講師を派遣していただき、実習でも地域の住民が看護の対象となる。3 市 1 町全体が学びの環境である。コミュニケーション能力の強化とともに地域に貢献する看護師の育成を目指し、地域の理解を深め地域と連携してコミュニケーションを高める方法として実践している。

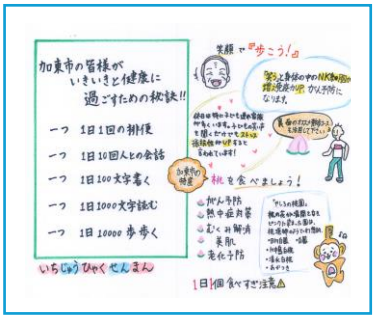
1.準備：１，２年生を対象とし、縦割りで４つの市町に分かれ活動する。

１）１年次での各市町からのＰＲ講義、
２年次のフィールドワークを活用し、
担当する市町の特性を確認し合う。

２）健康に関するテーマの選定を行う。

３）Ａ４用紙１枚（両面使用可）でチラシを作成する。





2.実践：１）活動場所は、公的な施設の周辺で行う。

２）公式キャラクターのビブスを着用し、
１年生と２年生が協同して活動する。

３）地域住民にチラシを用いて、
健康に関するコミュニケーションをとり、
住民の思いを知る。





４）活動後は、学内で共有し地域ごとの健康意識の違いを共有する。

3.結果：学生からは、「市町の特徴を知り、健康に暮らすにはどうすればよいのか考えることができた。」「体の調子や気持ちも知ることができてたくさん学ぶことがあった。」「去年より話しかける時に戸惑わず、１年で上達したと感じた。」等の意見があった。
地域の方からは、チラシを見て「行動に移したい」と言われたり、健康対策を教えてくださる方もあった。



4.まとめ：相手の反応や思いを汲み取りながら自分たちの思いを伝えることの難しさを感じたと同時に、個別性に合わせたコミュニケーションを学ぶことができた。

5.連携：1）組合の各市町の担当幹事と連携し、公共機関と調整する。

2）令和 6 年度兵庫県看護協会北播支部の「看護実践報告会」で教育活動を発表し、看護専門学校での取り組みを紹介した。
地域の看護専門学校として、臨床との連携につなげる一歩になる。

